

共同助成(熊本県遊技業協同組合)

「熊本地震被災地『モバイル児童館』」事業

遊ぶこと、表現することで自己を回復していく子どもに 遊びの空間と時間を届ける移動児童館

2016年4月に震度7の揺れが2回発生した熊本地震。被害が甚大だった熊本県益城町では、被災直後の避難所暮らし、さらに現在も仮設住宅での生活を余儀なくされている人が多い。そのような状況下、遊びの場所や機会を失った子どもたちのストレス発散のために移動する児童館を運営する団体がある。



遊び道具を積み仮設団地に向く「モバイル児童館」



集会所などに出向き子どもたちの遊び場を提供

子どもの感覚を刺激する遊び道具を積んで 子どもたちのもとにかけつける児童館

「モバイル児童館」とは軽トラックを改装し、そこに子どもの感覚を刺激する遊び道具（おもちゃ、トランポリン、滑り台・平均台・トンネルを組み合わせた感覚統合遊具、カラーボールなど）を積み込んで、仮設団地、公共施設などへ移動し、遊びの機会を子どもたちに提供するものである。

「NPO法人くまもとスローワーク・スクール」は、里山の光景が広がる熊本県玉名郡和水町を拠点に、不登校児童・発達障がい児向けのフリースクール活動、地域団体と連携して教育支援・就労トレーニング支援、子育て・子どもの教育に関するカウンセリングや講演活動などを行っている。熊本地震被災後、益城町総合体育館内避難所で就学前～小学生を中心に、遊び場支援、発達障がいなどを抱えた子どもたちへの寄り添い支援を実施してきた。し

かし被災者の生活拠点が仮設住宅へ移行したことに伴い、近くの公園が地震後に使えない、仮設団地敷地内に子ども遊び場がない、集会所は高齢者向けの設計になっているなどの事情で子どもたちの日常の遊び場が減ってしまい、本来、遊びの中で自己回復を図る子どもの回復機能が失われていることなどに気づいたという。

そこで、子どもの感覚を刺激する遊び道具一式を車に積み込み、必要な場所に赴いて、遊び空間・時間を提供しつつ、ダイナミックな遊びが不足している子ども、発達障がいなどを持ち、集団遊びの場に参加できない子どもに対して遊び支援を行うとともに、保護者や保育士への助言を行う事業を実施。益城町内には現在、16カ所の仮設団地があるが、子育て支援を行っているNPO法人などとコラボレーションして、そのうちの5～6カ所を回ったという。

自己表現することで自己を回復していく 子どもたちの状況に合わせて支援する

「子どもにとって、遊びは自己表現そのものです。東日本大震災後の支援活動などからも、子どもが絵を描いたり、体を動かしたりする自己表現の大切さが明らかになっています。このモバイル児童館ならどこにでも出かけることができるし、スペースに合わせて必要な遊びを提供できます。特に大人しい子、引っ込み思案な子、発達障がいなどで集団遊びが苦手な子などにとっては、フレキシブルな活動ができるモバイル児童館は適していると思います。さらに子どもたちを遊ばせている間に、母親同士の付き合いのきっかけにもなるし、母親からの子育て相談に乗ることもできます。それによって、子どもたちの変化やお母さんたちの状況を把握することにもつながります」

そう話すのは、「くまもとスローワーク・スクール」の代表理事、入江真之さん。さらにこのモバイル児童館の活動

の一環として、外部から美術系の講師を招いて、夏休みに図画工作の課題を手伝う子どもアート教室も実施した。また、春休みには、図書館が被災してゆっくりと本に親しむ機会を失った子どもたちのために絵本カーニバルも開催したほか、子ども体操教室、子どもから高齢者までを対象にしたエクササイズも実施した。「子どもは表現を通じて自己回復していく力がすごい。それに対して大人や高齢者のほうが気持ちの落ち込みや孤立感から、なかなか回復できません。今後はそちらにも目を向けた活動をしていかなければと思っています」と、入江さんは語った。

熊本県遊技業協同組合より

被災した子どもたちのストレスを発散させ、安心感を与える遊び場の提供は必要だと共感し助成しました。今後も子どもたちに寄り添う活動に期待しています。



絵本カーニバルも開催



夏休みに開催したアートスクール

助成団体: 特定非営利活動法人 くまもとスローワーク・スクール <http://www.kumamoto-sws.com>



仮設住宅という特殊な状況に置かれた子どもたちを見守りたい

今後、予想されている南海トラフ地震などが起きた際にいち早く駆けつけて子どもたちのための活動を行う基盤となるモバイル児童館の整備ができました。各種の助成が取得しにくい状況になりつつあり、活動頻度も減らざるを得ない中、仮設住宅で暮らす子どもたちの表現活動に支障が出るのが心配ですが、今後もなんとか頑張っていきたいと思っています。

NPO法人 くまもとスローワーク・スクール
代表理事 入江真之さん